



CONTENTS

■2019年度スポーツ振興支援事業・
地域振興支援事業贈呈式開催
■奨学生の声紹介

■支給団体の声紹介
■奨学生の進学先
■2020年度奨学生募集

シリーズ 第28回

この本をあなたにも薦めたい
「水燃えて火 一山師と女優の電力革命」
神津カンナ (著)

2019年度スポーツ振興支援事業ならびに地域振興支援事業贈呈式を開催

伊藤青少年育成奨学会は、2019年度スポーツ振興支援事業ならびに地域振興支援事業の助成金贈呈式を、7月18日(木)、セラミックパークMINO(岐阜県多治見市東町)で開催しました。

019年度 公益財団法人 伊藤青少年育成奨学会
スポーツ振興支援事業・地域振興



当奨学会では、次代を担う青少年の育成と、豊かな文化、スポーツ、芸術等の涵養、並びに活力ある地域社会の実現に寄与することを目的に、高等学校および特別支援学校のクラブ活動、ならびに、岐阜県内で開催されるスポーツや地域振興イベントに助成金を交付しています。2019年度はスポーツ振興支援事業に応募された高等学校クラブ活動76団体5,336万円から32団体に計1,919万円を、同じくスポーツイベント12件861万円から7件445万円を、地域振興事業では、高等学校クラブ活動38団体3,072万円から21団体に計1,792万円を、地域振興イベント15件866万円から5件255万円を、それぞれに助成することとし、贈呈式出席者に目録を手渡しました。

贈呈式では、初めに、当奨学会評議員長・篠花明が「日本の人口が減少に転じたなかで、次代を担う青少年は財(たから)であります。豊かな人間性を確立し次代を担う人財に育ててほしいと願います」とあいさつしました。続いて、選考委員長・長谷川佳子が「高校クラブ活動の選考では、真に必要な器材・器具から優先的に選考しました。一方で、助成金額上限の100万円となるように複数の物品を組合せた応募も散見されました」と概評しました。

助成を受けた団体を代表して、県立岐阜総合学園高等学校の野田正明校長から、「ご支援に感謝し、生徒と指導者がともに夢に向かって邁進していきます」との謝辞をいただきました。



2019年度 スポーツ振興事業支援先一覧

学校名	クラブ名
岐阜県立岐南工業高等学校	ラグビーフットボール部
岐阜県立岐阜商業高等学校	軟式野球部
岐阜県立岐阜総合学園高等学校	(女子)バレーボール部
岐阜県立岐阜総合学園高等学校	弓道部
岐阜県立羽島北高等学校	ハンドボール部
岐阜県立羽島北高等学校	フェンシング部
岐阜県立池田高等学校	女子バスケットボール部
岐阜県立大垣北高等学校	(硬式)テニス部
岐阜県立大垣商業高等学校	女子ソフトテニス部
岐阜県立大垣商業高等学校	定時制軟式野球部同好会
岐阜県立大垣東高等学校	バドミントン部
岐阜県立都上北高等学校	硬式野球部
岐阜県立東濃高等学校	弓道部
岐阜県立八百津高等学校	硬式野球部
岐阜県立土岐商業高等学校	ウエイトリフティング部
岐阜県立中津川工業高等学校	男子バレーボール部
岐阜県立中津高等学校	(全日制)陸上競技部
岐阜県立中津商業高等学校	(硬式)野球部
岐阜県立高山工業高等学校	スキー部
岐阜県立飛騨神岡高等学校	硬式野球部
岐阜県立飛騨神岡高等学校	スキー部
関市立関商工高等学校	ラグビー部
岐阜第一高等学校	スキー部
岐阜第一高等学校	女子バスケットボール部
済美高等学校	(女子)バレーボール部
済美高等学校	剣道部
城南高等学校	弓道部
多治見西高等学校	弓道部
岐阜県立岐阜清流高等特別支援学校	バスケットボール部
岐阜県立岐阜盲学校	運動部
岐阜県立岐阜本巣特別支援学校	サッカー部
岐阜県立東濃特別支援学校	卓球部

休部状態だった野球部が県大会に出場

岐阜県立八百津高等学校 硬式野球部 監督 金子浩隆

部員5名で休部状態だった野球部を再活動させ、前年度(平成30年度)秋季中濃・飛騨地区大会で3位となり、19年ぶりに岐阜県大会に出場することができました。

本校硬式野球部の課題は、球速130km/h以上の投手からはヒットを打つことができないことでした。これを克服するために、伊藤青少年育成奨学会からの助成金と父母会の負担金でホイールを購入し、ピッチングマシンを修理しました。修理後のピッチングマシンはコントロールが安定し、スピードも出るようになりました。ピッチングマシンによる速球対策により、今夏の大会では、昨年11月の練習試合で2安打無得点に抑えられてしまった速球投手を相手に、7安打4得点をあげることができました。試合そのものは敗退してしまったものの、選手の成長を感じることができた試合でした。

夏の大会後、新チームでの活動がスタートしました。主力メンバーだった3年生が抜け、部員は2年生8名、1年生8名、マネージャー1名と少人数になります。修理したピッチングマシンを大切に活用し、知恵を出して、よりよい環境を作っていくと考えています。秋季地区大会でまずは1勝をあげ、そして、県大会に出場することができるよう取組んでいきます。まだまだ発展途上の八百津高校硬式野球部ですが、OBや八百津町の地域の方々、関係者など大勢の皆さんに愛される野球部にしていきます。

中高生が恵那市岩村町で狂言を鑑賞

一般社団法人恵那市観光協会岩村支部 支部長 渡曾延彦

恵那市観光協会岩村支部では狂言の鑑賞会を、岐阜県恵那市岩村町の重要伝統的建造物群保存地区にある「勝川家」にて開催しました。当日は、地域住民のほかに、岩邑中学校の生徒と、恵那市でホームステイするオーストラリア東部トゥーンバ市の中学生も一緒に英語での解説も交えながら鑑賞しました。狂言は、室町時代から受け継がれている伝統芸能で、2001年にユネスコによって初の世界無形文化遺産に指定されました。能と同じく猿楽から発展し、能と交互に同じ舞台上で演じられてきました。対話を中心としたセリフ劇で、大道具などを用いず、言葉やしぐさで全てを表現する喜劇です。

鑑賞会では、重要無形文化財総合指定保持者の狂言師、和泉流山脈佐藤彦さんらが『棒縛(ぼうしばり)』などを上演しました。棒縛は、主人の留守中に家来2人が酒蔵の酒を飲み干してしまう話です。主人は留守中に盗み飲みしないよう家来を縛りつけて出かけるのですが、2人は協力して、足を使ったり、棒で縛られている手を使ったりして酒を飲みます。本当に酔っぱらって楽しく飲んでいる演技に見入っていました。日本語のセリフがわからないオーストラリアの中学生からも自然と笑い声があがっていました。

「オーストラリアとは異なる日本の伝統文化に間近で触れることができ、とても良かった」との声もいただきました。恵那市岩村町の中学生も含め、日本の伝統文化に接する良い機会となりました。



2019年度 地域振興事業支援先一覧

学校名	クラブ名
岐阜県立加納高等学校	吹奏楽部
岐阜県立岐山高等学校	琴曲部
岐阜県立岐南工業高等学校	吹奏楽部
岐阜県立岐阜高等学校	自然科学部(生物班)
岐阜県立岐阜総合学園高等学校	太鼓部
岐阜県立大垣工業高等学校	電子機械部
岐阜県立大垣北高等学校	器楽部
岐阜県立大垣商業高等学校	演劇部
岐阜県立大垣商業高等学校	吹奏楽部
岐阜県立不破高等学校	自然科学部
岐阜県立可児工業高等学校	吹奏楽部
岐阜県立多治見工業高等学校	機械システム部
岐阜県立多治見高等学校	科学部(生物班)
岐阜県立瑞浪高等学校	吹奏楽部
岐阜県立中津商業高等学校	吹奏楽部
岐阜県立斐太高等学校	吹奏楽部
岐阜県立飛騨高山高等学校	吹奏楽部
岐阜県立吉城高等学校	写真部
美濃加茂中学校	ブラスバンド部
中京学院大学附属中京高等学校	太鼓部
中京学院大学附属中京高等学校	チャリダー部

主催者名	事業・行事等
関ラグビースクール	稲刈グラウンド、ふるさと農園広場復旧活動
岐阜県知的障がい者サッカー連盟	岐阜県知的障がい者サッカーフットサル大会
岐阜県立多治見工業高等学校硬式野球部	少年野球教室
はしまアフェンシングクラブ	第11回川本杯はしまアフェンシング大会
岐阜県スキー連盟競技本部育成委員会	SAGスキークラブU15-U12
全日本中学選手権競漕大会実行委員会	第39回全日本中学選手権競漕大会
特定非営利活動法人可茂ラグビー倶楽部	ラグビー普及チャイルドプログラム

仲 陽香

岐阜大学
医学部
医学科2年
(岐阜県立豊田高等学校卒)

弓道初段に合格し「通し矢」で腕試し

2018年に一番力を入れて取り組んだことは、弓道の審査で初段をとることでした。私は、今年、成人になるため、毎年、成人の日近くに京都蓮華王院三十三間堂で行なわれる「通し矢」に参加したいと思っていました。通し矢は新成人の腕試しであり、参加するためには、新成人であり、かつ、弓道の初段以上でなければなりません。

休日などを返上して練習に励み、2018年10月、段級審査に挑みました。その日はちょうど私の誕生日であったこともあり、先輩方や仲間からたくさん励みを受け、緊張したなかで審査を受けました。2射いずれも矢は的に当たらず、なかば諦めながら結果を見に行くと、なんと、無事、初段合格でした。最高の誕生日プレゼントになりました。弓道初段位は、「射型・体配型に



適って、矢所の乱れぬ程度に達した者」に与えられます。矢が的に当たることが全てではなく、むしろ、体配の美しさや、射法・射技の正しさを重視するとした弓道の奥深さを実感した瞬間でした。そして、今年、成人の日の前日2019年1月13日(日)に通し矢を迎えました。冷え込み厳しい晴天の中、1,400人を超える成人を迎えた若者たちが振袖・袴姿で、弓矢を射る光景は、日本らしく、また、正月ならではの華やかさで、心から感動しました。

安藤咲良

愛知大学
国際コミュニケーション学部
英語学科2年
(岐阜県立恵那高等学校卒)

大学生によるタイ国での海外ボランティアに参加

愛知大学では、海外で異文化に直接触れ、アジア諸国の貧困問題など世界の抱える課題についての理解を深めることを目的に、タイでの海外ボランティアプログラムが始まり、2018年8月の9日間、社会福祉に関する活動に取り組みしました。このプログラムへの応募者は多く、書類選考と面接を経て参加者26名が決定しました。メンバーに選ばれたことは、とても嬉しく、一方で、悔いが残らないよう励まなければと身が引き締まる思いでした。

チェンマイにあるタイ山岳少数民族の子どもたちが住む学生寮「カサロンの家」(孤児院名称は「希望の家」)を訪問し、衣服の寄付をはじめ、日本料理を振る舞ったり、掃除をしたり、子どもたちと一緒に遊んだりしました。4日間、子どもたちと共同生活をしながら交流を深めるなかで、現地の皆さんの温かさに触れるとともに、夢や希望を抱く子どもたちから多くの刺激をもらいました。

バンコクのような都市部と「カサロンの家」があるような山岳部とでは、確かに経済的に生活面で格差があるものの、みな夢に向かって一生懸命に勉強していました。「カサロンの家」の子どもたちに笑顔で再訪したいです。

長谷部恵梨菜

富山大学
経済学部
経済学科3年
(関市立関商高等学校卒)

中学時代の同級生全員と成人式

今年2019年1月に、地元で開催された成人式に出席しました。私が通っていた中学校の同級生は14人でした。全員が保育園の時から同級生で、全員が幼なじみのように育ってきました。しかし、高校に入学してからは、それぞれの進学先が異なっていたことから、いつでも会うことができなくなり、さらに、大学に進学したり就職したりしてからは、なかなか会うことは叶いませんでした。

成人式では、久しぶりに全員に会うことができました。地元の成人式は二部構成で、一部は厳粛に行い、二部は自分たちで行うものでした。二部では一人一人、近況を報告しました。皆が今どこで何をしているか知ることができ、将来について様々な考えも聞くことができました。そこで、私は何が出来るのだろうか、将来何をしたいのだろうか、改めて考えることができました。この成人式を最後とするのではなく、また、地元の同級生と会う機会があることを願っています。

小木曾 繪

茨城大学
理学部
理学科4年
(岐阜県立恵那高等学校卒)

センターバックでがんばる

私が所属する茨城大学女子サッカー部は、部員数などの問題で大学リーグに入ることができません。そのため主な活動は、他行との練習試合や茨城県女子サッカーリーグ、茨城県内の大会への出場等になります。

昨年2018年11月のリーグ最終戦では勝利を取ることができました。私のポジションはセンターバックでレギュラーです。センターバックは他のDF(ディフェンダー)に指示を出し全体を統率することが求められます。以前は別のポジションだったので、初めは自分から声を出しヒトを動かすことができませんでした。しかし、日々の練習の中でチームメイトからアドバイスをもらったり、自主練を行ったりすることで少しずつできるようになりました。

2019年度のリーグ初戦では敗退してしまいましたが、DF間の連携を取ることができ、自分自身納得のいく試合ができました。部員同士の信頼関係がより強くなり、技術面だけでなく、プレーヤーとしても一人の人間としても成長できたのではないかと感じています。大学3年で副キャプテンは退任しましたが、これから部員同士で切磋琢磨しながら、一所懸命にやり切りたいと思います。



有我和真

東京大学
教養学部
理科II類2年
(私立帝京大学可児高等学校卒)

東大駒場祭で「持ち帰り謎」を制作・販売

私は、東京大学前期課程教養学部在籍しています。一つの研究分野を深く学ぶ専門課程とは異なり、教養課程では、数理学、物質科学、生命科学といった自然科学の基礎知識を幅広く学びます。1年後期から2年前期までは、物理、化学、生物、地学の各分野で実験の授業もあります。高校では、生物と地学を勉強することがなかったため、実験を通じて理解を深めるとともに、興味を持つことができてきました。

課外活動としては、TVでもちょくちょく登場する東京大学謎解き制作集団Another Visionに所属しています。2018年11月の駒場祭で販売した、新入生中心の「持ち帰り謎」制作に参加しました。持ち帰り謎とは、好きな時、好きな場所で解ける謎解きキットです。制作の過程は、無から有を生み出すことばかりで、なかなかアイデアが浮かばないことも多くありましたが、試行錯誤しながら議論を通じて「謎」を生み出すことができました。サークルの先輩やお客様からも高い評価をいただき、駒場祭だけでなく、その後のサークルイベントでも再販することができました。これからも多くの「謎」の制作に関与していく予定です。

野田美緒菜

京都大学
経済学部
経済経営学科3年
(岐阜県立岐阜北高等学校卒)

同期59人で一生忘れられない最高の演奏

昨年2018年11月末に、「京炎そでふれ!彩京前線」の13代目副代表を引退しました。京炎そでふれ!とは、京都学生祭典で誕生したオリジナル創作おどりです。その中で、彩京前線は、「楽しく真剣におどる」「感動させることに感動する」「奇跡を感じ、笑い合う」をコンセプトに掲げ、主に京都大学と京都府立大学の学生で構成したチームです。チームのなかには、賞を目指すものもいれば、コミュニティとしてのチームを重視するものもいて、様々です。この多様性こそがチームの最大の強みであると捉え、各々の価値観を認め合いながら、共に練習し、最高の演奏ができるよう目指しました。特に、意見を言える、聞いてもらえる環境作りを力を入れてきました。

昨年11月24日に京都大学で行われた「のつきみ祭」では、彩京前線の同期だけで演奏しました。同期全員で踊ることのできる最後の場でした。1年間同期59人が一人も辞めることなく、全員で踊ることができたのは最大の喜びでした。踊っている間、同期はみな今までにないくらいいい顔をしており、私たちが作りたかったチームはこういうチームなのだと思えました。最後まで笑顔で踊り切ろうとしたのですが、同期からの「お疲れ様」の一言に、涙が止まらなくなりました。

チームにかけた思いも時間もみなそれぞれでしたが、最後に同じステージで気持ち一つにして演奏ができたのは私の誇りです。一生忘れられない最高の演奏になりました。これからも、この経験を糧に頑張っていきたいです。



村井まこ

名古屋大学
理学部
生命理学科3年
(岐阜県立多治見北高等学校卒)

なかなか難しいメダカの解剖

大学2年後期からは、午前中に講義(座学)、午後から実習という形になりました。基礎生物学実習では、英語で書かれた原書論文を読みました。大学に入学してから英語に触れる機会が減少していたこともあり、初めの頃は苦労しました。

実習では、1つの実験を1週間かけて行ったため、より深く学ぶことができました。メダカの仔魚を染色して生殖腺を観察する実験では、とても小さなメダカをなかなか上手に解剖することができませんでした。しかし、研究室から来ていた院生は、簡単にやってのけていました。

私は、大学院へ進学したいと思っています。大学3年の秋から卒業研究が始まり、研究室に配属されます。今は、講義を聴いて面白かった研究室を調べたり、先生に話を伺ったりしています。大学院生からも研究室の様子を教えていただき、自分がやることのイメージが明確になってきました。夏までには、研究室の見学にも行こうと思っています。

保木口 龍成

慶應義塾大学
理工学部
システムデザイン工学科4年
(岐阜県立豊田高等学校卒)

4月から弟が同じ学生会館に入寮

私は、東京都八王子市にある岐阜県学生会館に入寮しています。学生会館には、寮生活の運営を行うための自治会があり、私は、今年2019年3月まで寮長を務めていました。寮長は、新入寮生歓迎会や花見、卒業生の追出しコンパなどの行事の度に、人前に立ち、話をする機会が多くありました。高校時代は人前で話をする経験が少なかったことから、初めの頃はうまく話すことができませんでした。しかし、寮長として経験を重ねていくうちに、徐々に堂々とした態度ではっきりと話をするできるようになりました。

今年の4月からは弟が大学に進学し、同じ学生会館に入寮しました。家族は両親と弟の4人で、子2人がともに東京の大学に進学したことを考慮すると、経済的な負担も含め両親には感謝の気持ちで一杯です。わずかで両親の負担を減らすことができるように、弟には生活面や学習面でアドバイスし、また、相談に乗り、互いに協力して生活していきたいと考えています。

左近充雅弥

愛知工業大学
工学部
建築学科4年
(私立多治見西高等学校卒)

建設中の「有明アリーナ」に感動

私は、大学で建築材料施工系のゼミに所属しています。コンクリートの打ち込み管理システムの研究に取組む予定です。コンクリートの打設量をデータベース化し、さらに3D画像で打ち込み状況が確認できるようなシステムとなっています。現時点では、データにずれがあるため、現場に直接出向いて実験を行う必要があります。この研究が実用化することができれば、コンクリートの打設をより効率化することができます。将来は、機械がナビゲートしてくれることを目指しています。

上京した時に立ち寄った東京都江東区有明で建設中の「有明アリーナ」に魅了されました。この施工物件は、世界最大の木造の梁で施工されており、2020年の東京オリンピックとパラリンピックの競技会場となる予定です。競技会場内は木の温かみを感じられる空間となっており、訪れる人々の心に残るような建物であり続けるのではないかと感じました。私も、現場監督として職人さんたちを上手くまとめ、有明アリーナのように、人々の印象に残るような建物の施工に携わりたく強く思いました。

伊藤宗人

名古屋大学
工学研究科
情報・通信工学専攻 修士2年
(岐阜県立恵那高等学校卒)

国際学会での研究発表が決定

私の研究が認められ、業界トップレベルの国際学会での発表が決まりました。これまでの2年間、「光無線技術を利用して複数送信機から情報を収集する技術」の研究テーマで、従来よりも高性能な手法を生み出すことに注力してきました。もっともそれは簡単なことではなく、実験結果を導くため研究室にこもりきりの生活を1か月以上続けるような、心身ともに辛い時期を過ごしたこともありました。しかし、努力が実を結んだことで、大きな喜びと達成感を得ることができました。

また、研究活動での取り組み方についても学びました。2018年9月に学会でNTT持株研究所の研究員の方に、「研究にあたっては、1年単位の大きな目標を立て、日々は1週間単位でPDCAサイクルを回すことによって、立案と課題解決が繰り返され、成果につながる」との助言をいただきました。早速、この方法で研究を開始してみると、現在、どんな内容を取組んでいて、どんな結果が必要なのかなど、常に現状を意識することができました。ただがむしらに努力するだけではなく、目標を持ち、それを達成するための経過を逆算し、継続的に取り組んでいく重要性を学ぶことができました。

特集

私たち岐阜大学医学部5年生

2019年5月20日までに提出された学業・生活報告書から抜粋

西尾誠一郎

岐阜大学
医学部
医学科5年
(私立東海高等学校卒)

弓道におけるイップスを研究

岐阜大学医学部弓道部に所属しています。大会での成績は入部時に比べ徐々に上昇し、最近では、関西地区の大学医学部チームが集まる大会で、男子団体戦準優勝を果たしました。自分も団体メンバーの一員としてチームに貢献することができ嬉しい限りでした。大学卒業後は多忙で弓道の時間を確保できないものと思われ、悔いのないよう精進するとともに、中学から続けてきた経験や知識を後輩に伝えていきたいと思います。

また、弓道における「イップス」の研究にも取組み始めました。イップスとは、スポーツ時などにみられ、震えたり関節が拘縮したりすることで思い通りに体の一部を動かすことができなくなってしまう運動障害のことです。ゴルフ、野球、ミュージシャンなどで報告されています。弓道でも「早気」といって狙いを付けている途中で意図せず矢を放ってしまう現象はイップスの一種といえます。近年、イップスは作業特異性ジストニアという神経疾患の1つではないかと注目を浴びています。

今回の研究では、イップスの頻度やリスク因子の解明に向け、2つの大学の弓道部でアンケートを実施し、現在、解析の段階です。数学的な統計手法が必要で苦戦していますが、在学中に学会発表できるよう先生からアドバイスを仰ぎながら取り組んでいます。

田端みずほ

岐阜大学
医学部
医学科5年
(岐阜県立聖太高等学校卒)

NPO法人で農作業ボランティア

大学3年生の時から学生研究員として働いています。寄生虫・感染学分野の研究室で、マラリアの感染に対する免疫機構について研究しています。これまでの研究で、Rag2遺伝子が欠損したマウスでは野生型のマウスよりも感染初期における抵抗性が強いことがわかりました。Rag2遺伝子欠損マウスでは、免疫機構で非常に重要な働きをするT細胞やB細胞が欠損しており、非致死株のマラリア原虫でも感染すると死んでしまいます。しかし、感染初期では野生型マウスよりもマラリアに感染した赤血球の数が少ないのです。この不思議な現象がなぜ起きているのか研究しているところです。



田端みずほさん、実験室で作業中

私は大学1年から、ひきこもりなどの問題を抱えた人の自立を支援するNPO法人で農作業ボランティアをしています。主に枝豆、プロッコリー、ほうれん草を生産し、本楽市のモレラ岐阜で販売しています。品質が高くお値打ちと好評です。ボランティアでは様々な人と巡り会いました。なかには独立して自分の力で生活できるようになった人もいます。ひきこもりだった人の提案ではじまった茶話会は新聞でも取り上げられました。アルバイトを始め社会に出ていけるようになっていく様子を見てるととても嬉しくなります。今後もNPO法人での活動を続けていきたいと思います。

服部真由

岐阜大学
医学部
医学科5年
(岐阜県立岐阜高等学校卒)

実習中に患者さんから頂いた言葉

実習期間中の患者さんとの出会いについて報告します。その患者さんは神経内科に入院されており、私は、毎日病棟にお話を伺いに行っていました。初めの頃は、調子はどうかと声掛けし少し診察する程度でしたが、通ううちに患者さんから積極的にお話をいただけるようになり、病気の悩みやご家族のことなどをお聞きすることができました。私はもともとコミュニケーションがあまり得意ではなく、患者さんとの接し方に不安を抱えていましたが、この患者さんとの関係で少し自信ができました。実習の最終日に患者さんから頂いた「笑顔で話を聞いてくれてうれしかった」の言葉が今も心に残っています。これからも、患者さんに少しでも笑顔になっていただけるように努力していきます。

私が所属している岐阜大学医学部室内合奏団では、毎年3月に卒業生に向けたコンサートを開きます。コンサートでは部員全員での演奏のほかに、有志でグループを作っての演奏もあります。私たちの学年は4人しかいませんが、4人だけで演奏しました。曲目は、卒業する先輩が好きなディズニーのメロデーにしたのですが、弦楽四重奏のための楽譜がなく、自ら楽譜を作ることから始まりました。4人とも昼間は実習で忙しく、夜遅くに集まって練習することが何度もありました。コンサート当日は、卒業生の皆さんに喜んでいただき、私たちなりに感謝の気持ちが届けられたと思います。



新井康允

岐阜大学
医学部
医学科5年
(私立高山西高等学校卒)

地元で地域貢献したい

岐阜大学医学部では、4年次の11月より大学医学部附属病院で臨床実習が始まります。患者さんを実際に受け持たせていただきながら、その病態・経過の把握に努め、健康状態を改善するためにどうすれば良いのかを考える事が実習の要旨となります。個別の疾患や人体の構造・機能については座学で勉強しており、また、国家試験に向けても勉強中ですが、それらが生きている人間の身体に現れている様子をみて、知識が臨床に役立つことを実感できるのは実習ならではのものです。今年の1月と4月に地元の高山赤十字病院の見学に伺いました。飛騨高山で地域貢献をしたいと考えており、願わくは故郷の医療機関で働きたいと思っています。この実習期間中を、将来自分がどのように働くかをよく考える機会としたいです。

シリーズ 第28回 この本をあなたにも薦めたい

公益財団法人

伊藤青少年育成奨学会

理事 井神 忠



「水燃えて火 ―山師と女優の電力革命―

著者：神津カンナ
出版社：中央公論新社
初版刊行日：2017/3/9

この本は、福沢諭吉の女婿で「山師」とも呼ばれた「電力王」福沢桃介と、桃介を支え続けた「女優第一号」川上貞奴を主人公とする長編小説です。

同時にこの本は、綿密な取材や調査に基づく歴史ドキュメントでもあります。木曾川の水力開発や、「木一本、首一つ、枝一本、腕一つ」

のような苦難に満ちた木曾谷の歴史などが綴られています。

福沢桃介は木曾川に7か所の水力発電所を作っていますが、その代表格がわが国最初のダム式水力発電である「大井ダム」です。1921年(大正10年)7月着工、1924年9月竣工、堰堤の長さ276メートル、高さ53メートル、最大出力4.8万kWという規模は完成当時、東洋一と謳われました。

1923年9月の関東大震災による資金不足など、完成への道のりは困難を極めました。これをどう乗り越えたかについては、本書をお読みください。実業家としての桃介の大人(たいじん)ぶりがわかると思います。

桃介は「発電所をライン川に浮かぶ古城のように並べたい」と言っていたように、7か所の発電所はいずれも美しく、4か所が近代化産業遺産に、その

うち「読書(よみかき)発電所」は国の重要文化財にも指定されています。私は7か所を全て見に行きましたが、例えば大井ダムは、天端(てんば)が通路となっており、大正時代の装飾デザインを取り入れた水銀灯や台座などが残っています。

もちろんこの本では、小説としての醍醐味も味わうことができます。若くして出会った後それぞれ道を行く桃介と貞奴、夫の川上音二郎の七回忌を経て女優を引継ぎ桃介を支える貞奴、その間で苦悩する桃介の妻の「ふさ」(福沢諭吉の娘)、木曾の島崎広助、弟の春樹(藤村)、小説「新生」など様々な人間模様が描かれています。

何となくこの本の舞台は大井ダム、木曾川、貞奴が鶴沼(各務原市)に建立した「桃光院貞照寺」「萬松園」など、わが岐阜県です。

皆さん、この本を読んでゆかりの地を訪れ、先人の偉業やロマンに思いを馳せてはいかがでしょうか。

2019年度大学奨学生認定式を挙行

伊藤青少年育成奨学会は、2019年度大学奨学生認定式を、8月9日(金)、株式会社パロホールディングス創業の地でもある岐阜県恵那市で挙行了。2019年度の大学奨学生は、応募者120名のなかから、書類選考や個人面接等を経て、最終的には46名が認定されました。当奨学会の奨学金給付事業は2000年度(平成12年度)から始まり、2019年度大学奨学生は第20期生となります。

認定式当日は恵那市でも気温37度の猛暑日となったなか27名の新大学奨学生が全国各地から会場に駆けつけました。訓辞では、当奨学会理事長・田代久美子、小論文課題図書とした『世にも美しい日本語入門』(ちくまプリマー新書)の著者である画家・安野光雅氏と数学者・藤原正彦氏の略歴を紹介し、彼らは人生の達人であると評しました。そのうえで、「人生の達人は助言など決してしないものだ。(落語に登場するような)横丁のご隠居たちは意外と奥深い経験をしている。彼らの言葉には(従順にということではなく)素直に耳を傾けてほしい。そして、そのcommonsenseをスプリングボードとして皆さんには大きく飛躍してほしい」とアドバイスとエールが送られました。

続いて、大学奨学生応募小論文のなかから特選作品7点を発表し、当奨学会選考委員長・長谷川佳子が、「自分の考えをしっかりと構成力で展開した作品には説得力があった」と講評しました。

記念講演では、講師に恵那高校卒業の教育評論家である後藤武士氏をお迎えし「平成を振り返る」をテーマにご講演いただきました。本年3月に出版となった著書『後藤武士のすごい平成史』の読み方についても解説されました。「第三の開国・グローバル化が行われ多様化と格差が進んだ平成は「静かなる激動」の時代であった」と述べ、最後に「家族への価値観が変わり、成功への方程式が無くなった令和の新时代、先達が思いもよらなかった方法で成功を掴む可能性がある。アンテナを高くはっておくこと、特に人との縁を繋いでほしい」と新大学奨学生を激励されました。



2019年度大学奨学生進学先

大学名	人数	大学名	人数
高崎経済大学	1	慶應義塾大学	1
東京大学	5	芝浦工業大学	1
東京藝術大学	1	中央大学	1
東京農工大学	1	日本大学	1
横浜国立大学	1	早稲田大学	1
富山大学	2	岐阜協立大学	1
山梨大学	1	岐阜女子大学	1
岐阜大学	2	岐阜聖徳学園大学	1
静岡大学	1	愛知大学	1
静岡文化芸術大学	1	金城学院大学	1
愛知教育大学	1	中部大学	1
名古屋大学	2	東海学園大学	1
愛知県立大学	2	名古屋学芸大学	1
滋賀大学	1	南山大学	2
京都大学	2	大谷大学	1
神戸大学	2	京都産業大学	1
岡山大学	1	立命館アジア太平洋大学	1
香川大学	1	計	18名
計	28名	国立・私立総計	46名

夢は体育教師の陸上女子

勝 成望

東海学園大学
スポーツ健康学部
スポーツ健康学科1年
(私立至学館高等学校卒)



走り高跳びと三段跳びに取組む陸上女子の勝成望さん。2020年度大学奨学生募集ポスターおよびチラン撮影時にお話を伺いました。

Q 陸上競技との出会いは…
(勝) 私が陸上をはじめたきっかけは、小学校2年生時のクラブ体験です。地元の中津川市には設備が充実した陸上競技場があり、母に連れられてジュニアクラブを見学し、すぐに入会しました。
Q 中学、高校時代はどのような選手でしたか…
(勝) 小学校時は走り高跳びでしたが、中学校では走り高跳びに転向しました。走り高跳びでは、中3時に中体連(全国中学校体育大会)で決勝に進出することができました。

地元中学校は、ジュニアクラブから陸上競技に取り組み選手が多く、今でもジュニアオリンピックや中体連で活躍する選手を輩出しています。高校は、スカウトされて名古屋にある至学館高校に進学しました。至学館高校陸上競技部も、毎年のようにインターハイで入賞者を出した強豪校でした。練習も上下関係もかなり厳しかったです。しかし、高2の夏合宿で脚部を怪我してしまいました。新人戦はもちろん、冬も思うような練習を積むことができず、高校最後の3年時は、春先から苦しいシーズンの始まりでした。

Q 大学でも陸上を続けているのですか…
(勝) 正直、陸上は高校までと思っていました。しかし、これまでに経験した自己記録を塗り替えていく達成感を忘れず、大学でも陸上競技部に入りました。
Q 大学ではトレーニング方法に変化はありましたか…
(勝) 大学では、コーチが各個人の伸ばす所や改善箇所を明確にして練習メニューを組んでくれます。私たちは、食事も含めて自己管理のもと、そのメニューを日々こなしていきます。サボろうと思えば、簡単にサボれますが、すぐにはれてしまいますし、何よりも自分の成績にすぐに現れてしまいます。お菓子作りが趣味ですが、専ら作るだけで食べるのは我慢しています。陸上優先でかなりストイックに取り組んでいます。
Q 記録は伸びていますか…
(勝) 体型の変化から走り高跳びでは伸び悩んでいることもあって、三段跳びにも挑戦するようにしました。8月に三重県伊勢市で行われた東海陸上競技選手権大会には、走り高跳び、三段跳びの両方で出場することができました。三段跳びでは、大会の度に記録が伸びていて楽しいです。今は、10月に長良川競技場で開かれる東海学生陸上競技秋季選手権大会での自己ベスト更新が目標です。
Q 陸上競技で学んだことは…
(勝) 目標をもって取り組んだことは、きっと自信につながります。今では、決めたことはしっかりと最後までやり切ることができると自信をもって言えます。スポーツの楽しさを伝えることができる体育教師になることを目指し、色々な経験を、勉強はもちろんですが、人間としても成長していけるよう頑張りたいです。

公益財団法人 伊藤青少年育成奨学会

2020年度 返還不要の給付型

大学奨学生募集

伊藤青少年育成奨学会は、志高き若者を応援します。

- 特色 大学入学前予約型給付奨学金
- 応募資格 岐阜県在住または出身の2020年春に大学進学を目指す若者
- 給付金額 年間360,000円×卒業までの最長修業年限
- 採用人員 40名(予定)
- 応募受付期間 2019年11月21日(木)～12月20日(金)

夢への跳躍。

もっと高く、もっと強く。
夢に挑む日々が、未来のあなたを高くへと導く。

大学奨学生
応募受付期間

2019年11月21日
～2020年2月中旬

1次選考
(書類審査)

2020年2月中旬

1次選考
結果通知

2020年3月中旬

2次選考
(個人面接)

2020年3月下旬

最終選考

2020年4月上旬

大学奨学生
内定通知

2020年4月上旬

2020年度大学奨学生ならびに大学院奨学生の募集にかかる詳細は、募集要項またはホームページで確認願います。